

平成18年11月10日

各位

会社名 セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
里見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問合せ先 執行役員
堀田 正 君
(電話番号 03-6215-9955)

平成19年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年5月16日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想(連結) (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表値(A)	682,000	123,000	75,000
今回修正値(B)	580,000	100,000	60,000
増減額(B-A)	▲102,000	▲23,000	▲15,000
増減率	▲15.0%	▲18.7%	▲20.0%
(ご参考) 前期実績	553,240	119,500	66,221

<修正の理由>

当中間期におきましては、パチンコ遊技機販売が計画を下回ったものの、当期の主力タイトルであるサミーブランドの旧基準パチスロ機「北斗の拳 SE」の当中間期における出荷が約32万台となる等、パチスロ遊技機の販売が計画を大幅に上回ったこと、およびアミューズメント機器事業において高付加価値製品および定番製品の販売が堅調に推移したこと等を受け、前年同期比で大幅な増収増益を達成し、また、当初計画と比較しても利益面で大きく上回りました。

当下半期以降において、当中間期で計画未達となったパチンコ遊技機事業における様々な強化施策を講じてまいりますが、その効果は来期にかけて現れてくるものと考えられることから、計画達成は困難と判断し、パチンコ遊技機事業は年間販売台数計画57万台を30.1万台へと見直します。また、パチスロ遊技機事業は当中間期において「北斗の拳 SE」の前倒し出荷等により好調となりましたが、当下半期から主な販売製品は新基準機へと移行します。新基準機は市場から評価を受けつつあるものの、その本格普及にはまだ時間を要するものと考え、パチスロ遊技機事業は期初計画していた年間販売台数を57.5万台から52.4万台へと見直します。

以上の結果、当初計画と比較して通期における売上高は1,020億円の減少となる5,800億円、経常利益は230億円の減少となる1,000億円、当期純利益は150億円の減少となる600億円を見込みます。

2. 通期業績予想(単独) (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

通期における単独の業績予想の修正はございません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上